

富士山

概況(平成15年11月)

火山活動は、落ち着いた状態が続きました。

高周波地震、低周波地震の回数とともに少ない状態で、火山性微動は観測されませんでした。

地震活動の状況

山頂に設置した地震計の記録によると、高周波地震、低周波地震の回数とともに少ない状態です(表1)。2000年後半から2001年前半にかけてやや活発化した低周波地震活動も、その後は落ち着いた状態が続いています(図1~5)。火山性微動は観測されませんでした。

表1 地震日別回数表(富士山)

富士山(A点)												
上旬	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	旬計	
高周波地震	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
低周波地震	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
中旬	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	旬計	
高周波地震	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
低周波地震	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
下旬	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	旬計	月計
高周波地震	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
低周波地震	3	0	1	4	0	0	0	0	0	0	8	11

短期・日別 地震活動推移 (最近2年間の高周波地震・低周波地震の日別回数)

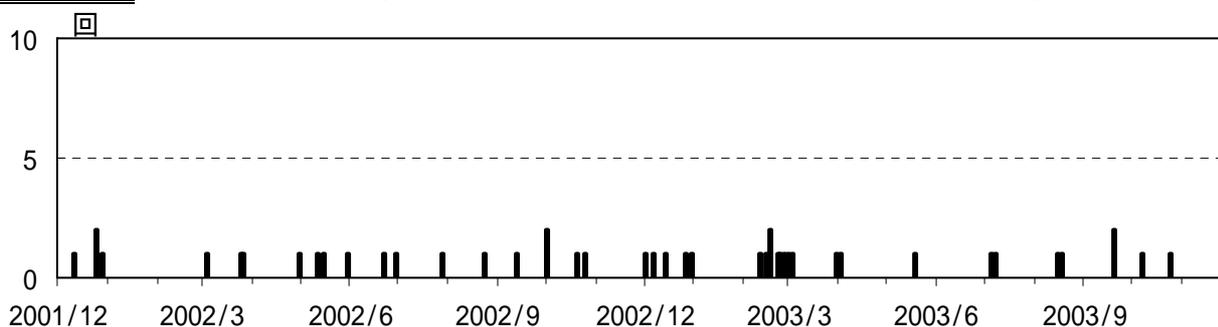


図1 富士山 高周波地震日別回数(2001年12月1日~2003年11月30日)

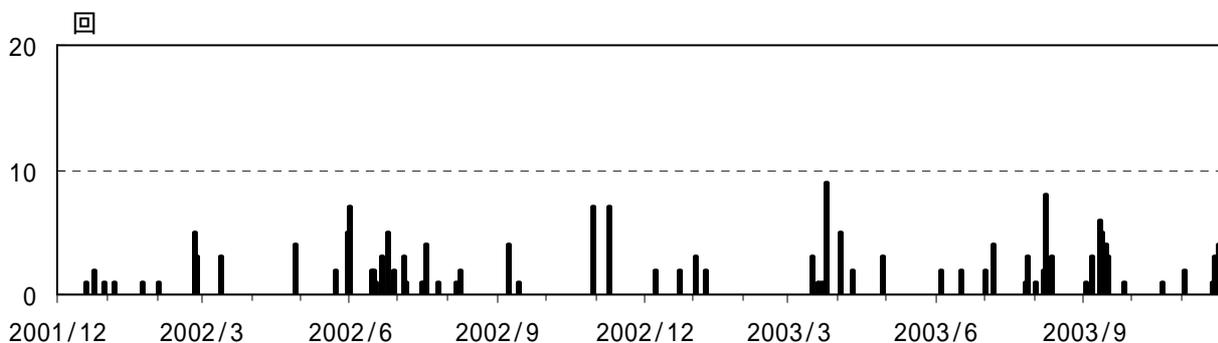


図2 富士山 低周波地震日別回数(2001年12月1日~2003年11月30日)

長期・月別 地震活動推移 (1995年6月以降の高周波地震・低周波地震の月別回数)

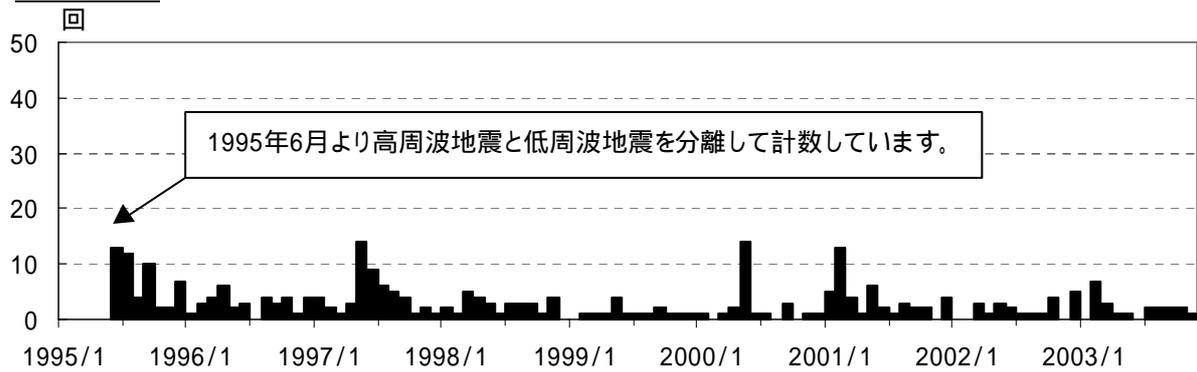


図3 富士山 高周波地震月別回数(1995年6月～2003年11月)

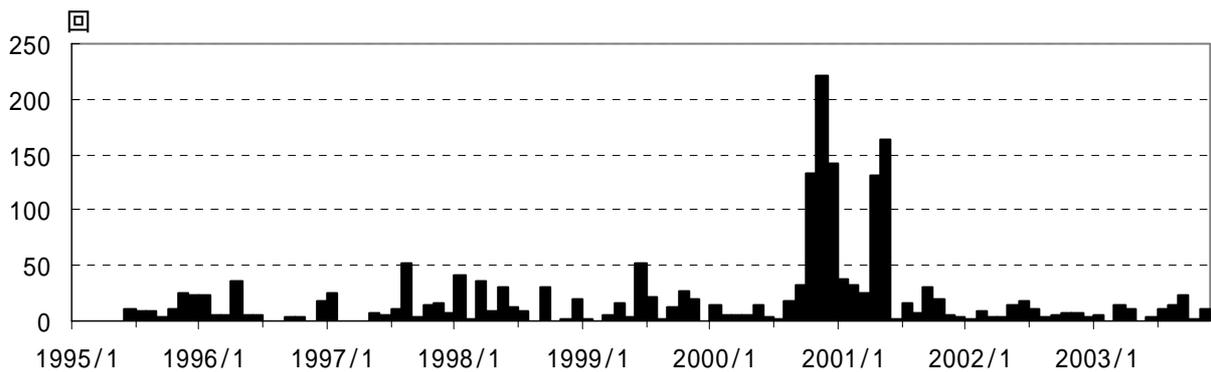


図4 富士山 低周波地震月別回数(1995年6月～2003年11月)



山腹の地面の陥没と噴気

気象庁では、11月26日に職員を現地に派遣し、状況を調査しました。

陥没状況は、前回(10月24日実施)と大きな変化はありませんでした。

また、9月22日から行なっている噴気温の連続観測では、降水によると思われる変化は見られるもののそれ以外には大きな変化はありませんでした。(図6)

現時点で、地震活動等他の観測データに異常な変化は観測されておらず、これらの地面の陥没や噴気が噴火活動と直接関連するものとは考えていません。

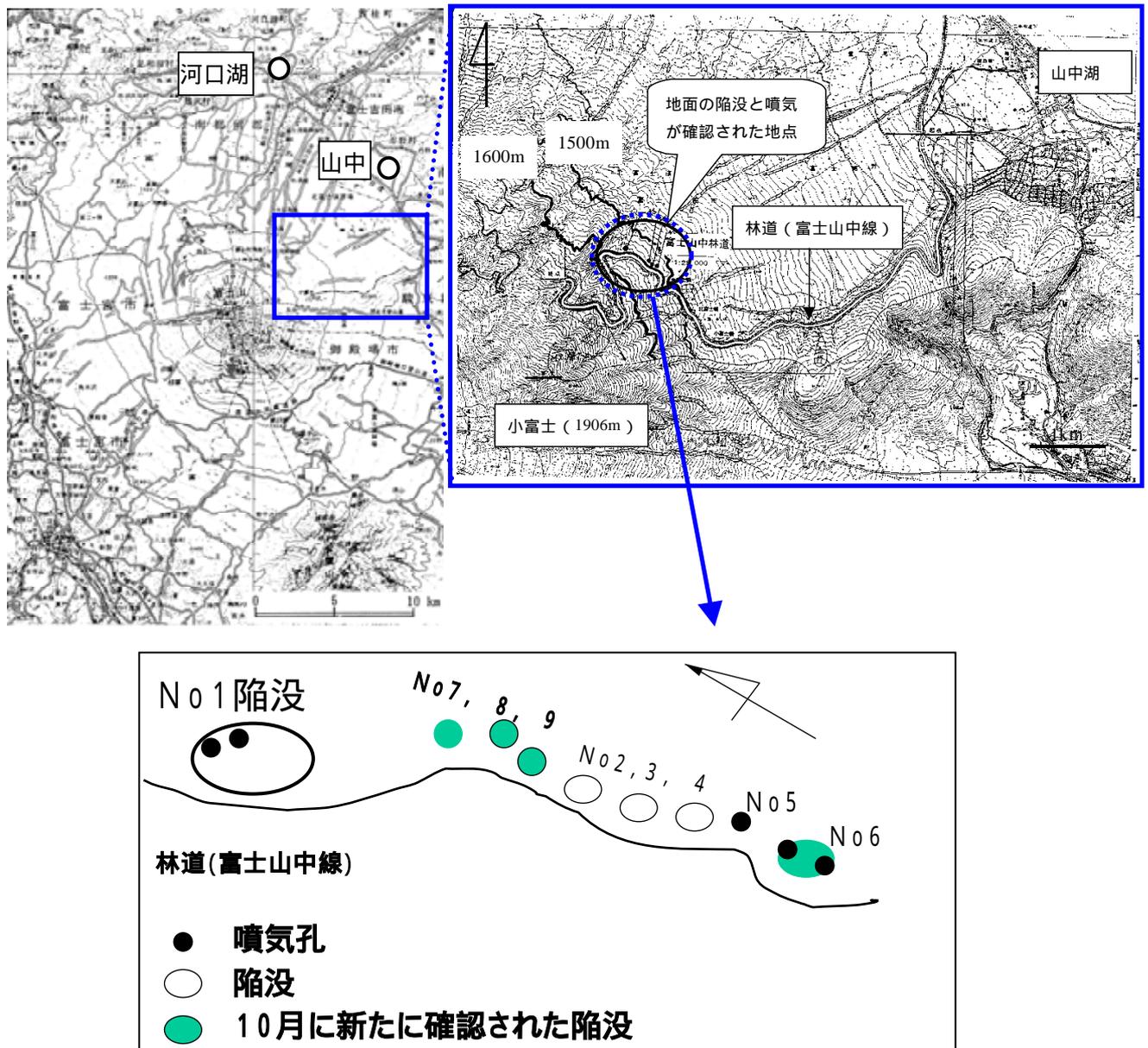


図5 地面の陥没と噴気の観測された位置

左上 国土地理院 1/200,000 地形図「甲府」及び「静岡」より

右上 国土地理院 1/25,000 地形図「須走」に山梨県消防防災課が加筆した資料より

下 地面の陥没と噴気孔の位置関係

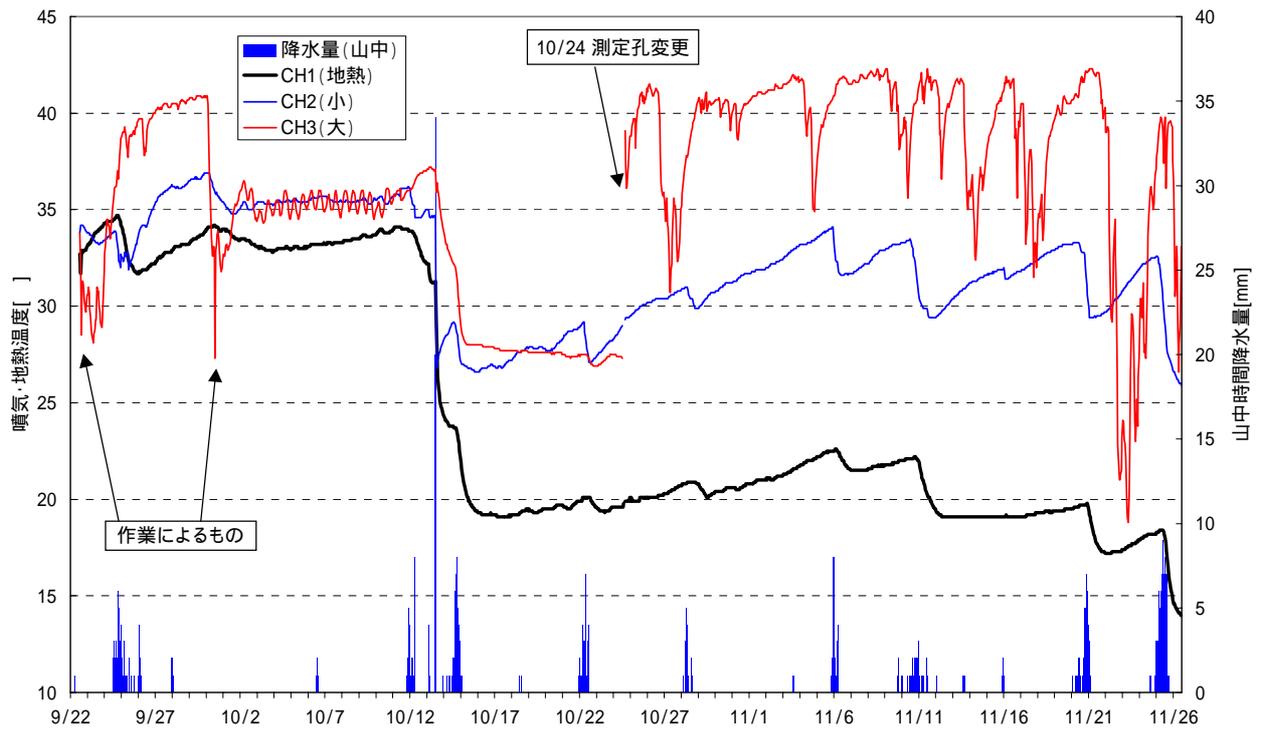


図6 1の噴気、地熱及び降水量の温度変化(9月22日~11月26日)